

コンフネット ニュースレター 第2号

Vol.2 2022.08.01

昆虫食王国タイにおける 昆虫食の魅力

タイ大使館農務担当官事務所

サコン・ワナセッティー

トロピカルフルーツや鶏肉の産地として名高いタイですが、実は昆虫食王国の一面も併せ持っています。高温多湿の気候が昆虫資源の宝庫を生み出し、追求された美味しさや栄養価の高さによって、昆虫食は身近な食材として地位を確立させています。昆虫食を伝統食文化として親しみをもつタイは、早い時期から産業化へと舵を切り、産官学で研究開発を重ねて、国際基準に準拠する生産レベルを高めることに成功しました。かつては屋台で見かけることが多かったですが、現在では、多様な昆虫食の商品がスーパーやコンビニの店頭に並ぶ光景は決して珍しくありません。タイ農業・協同組合省は昆虫食を推進するために、2017年にコオロギ養殖場の生産工程管理（GAP）TAS8202(G)-2017を制定しました。近い将来、他の昆虫食の規格も公表する予定です。また、「世界の昆虫食ハブ」という目標を設定し、チェンマイ大学、メジョー大学、コンケン大学、カセサート大学に昆虫食分野を特化した農業イノベーションセンターを設立して、昆虫産業をさらに盛り上げようとしています。現在では、昆虫養殖農家が全国に大凡2万戸にも上り、昆虫食の生産と輸出が目覚ましい成長を遂げています。一方、民間企業でも「タイ昆虫食産業協会」を年内に立ち上げるために最終調整に入っています。豊かな資源、蓄積されたノウハウ、そして、連携の取れたステーキホルダーを強みにもち、タイ昆虫食産業が今後更に加速化することに違いありません。

今月のトピック

副理事長 増田隆紀さん

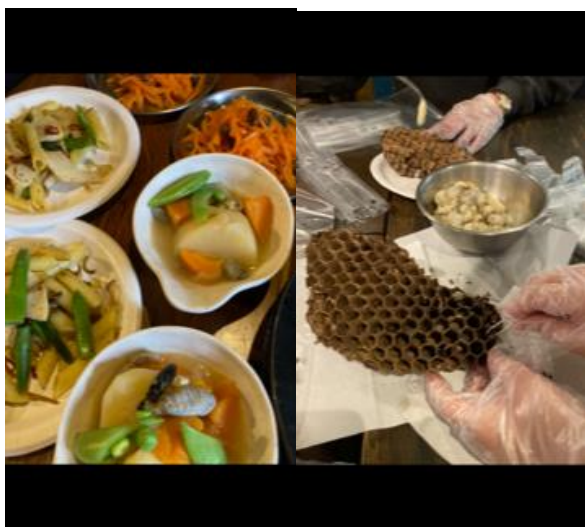
当NPO理事長の内山昭一が始めた「セミ会」は昆虫食界の夏の風物詩となって各地に広がっています。現代では難しい「自分で狩って。料理して、食べる」、この当たり前を体験できる魅力がセミ会にはあります。しかし、それに勝る魅力はセミが美味しいという事実です。どんな味と聞かれますが、説明は難しいので是非ご自分の舌で体験していただきたいと私は思います。勇気をもって参加した時、アリストテレスが「きわめて甘美なり」と表現したセミの味、あなたならどう感じるでしょう？心に残る夏の体験になること間違いありません。

おススメの一皿

『どんな味？香りも楽しむ昆虫メニュー』

5月14日、米とサーカス高田馬場店にて皆さんと昆虫料理を。この日は夏野菜と昆虫をテーマにレシピを考案。タガメの香りを楽しむキャロットラペ、ジャイミル入りのペペロンチーノ、オオスズメバチの洋風じゃが、そして試作メニューの山梨名物ほうとう（ミックス昆虫入り）でお腹いっぱい！

毎回違うメニューで参加スタッフ一同も楽しみにしています。コロナ禍が落ち着いたなら、一緒に調理に参加してもらえる形で開催できるといいですね。（阿南 記）



【活動報告】

米とサーカスで昆虫食を楽しむ会 59

7月9日の第59回は「メキシコ料理特集」。セミ入りメキシカンライス、タガメ風味ワカモレのコオロギチップ添え、ツムギアリとハニーワームのスープが今回のメニュー。メキシコは昆虫食が盛んな国の一つですが、現地ではこういう食べ方はしないと思われます。こんな料理が食べられるのはおそらくこの会だけ？この日はタガメの解体ショーも行われ、あっという間の90分でした。

7月18日 14時～15時30分 「昆虫食のこれから」 (港区立エコプラザ)

22名(小学3年生～80代)の幅広い年代の方に参加いただきました。講座では、世界で20億人が昆虫を食べる食文化の紹介や、SDGsの観点からは2013年にFAO(国際連合食糧農業機関)の報告より昆虫食の有用性が認められたことを転機にブームになっていること、昆虫食レシピを共有しました。牛、豚、鶏、魚、野菜、果物、昆虫といつかスーパーに並ぶ日がくることを期待します。

7月23日 スカイツリー第1回昆虫食教室 (大昆虫展 in 東京スカイツリータウン)

当NPOの内山理事長と樋口さんが、昆虫食の魅力を伝えました。実食できない厳しいなかでもハッチー小川さん親子参加やクイズで会場大盛り上がりでした。

楽しく美味しく昆虫食を学ぼう！
『めっちゃうま！？昆虫食事典』

<https://www.hanmoto.com/bd/isbn/9784278084054>

【活動予定】

8月7日

7月30日の「セミ会1」に続いて「セミ会2」

埼玉県所沢市航空記念公園にて今年度第二回のセミ会が行われます。セミ捕りとセミ料理が楽しめる人気イベントです。詳細は当会HPをご覧ください！

8月13日

・「米とサーカスで昆虫食を楽しむ会 60～セミシーズン到来 セミ尽くし」12時30分～

・「昆虫食を楽しむ会 in 池袋サンシャイン」

①15時30分～、②17時30分～

いつもの高田馬場の虫食会に引き続き、池袋サンシャインで2回の昆虫食イベントを実施します。詳しくは当会HPにて！

スカイツリー昆虫食教室 (2回開催 14時半、16時半)

第2回 8月14日

テーマ：「スズメバチの危険と美味しさ」

プレゼンター：スズメバチ芸人 丸沢丸さん

第3回 8月20日

テーマ：「昆虫食を知ろう 食用コオロギの活用方法」

プレゼンター：FUTURENAUT 合同会社 長壁さん

第4回 8月27日

テーマ：「日本の伝統産業『養蚕』と昆虫食」

プレゼンター：(株)NEXT NEW WORLD 清水和輝さん

第5回 8月28日

テーマ：「世界を救う昆虫食とSDGsのお話」

プレゼンター：昆虫食YouTuber 昆Tuber かずきさん

第6回 9月3日

テーマ：「昆虫食教室～おいしい昆虫料理のご紹介～」

プレゼンター：NPO法人昆虫食普及ネットワーク

副理事長 増田隆紀さん

編集後記 ご意見ご感想は[コチラ](#)

異常気象やコロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻により日本の輸入農産物は大きな影響を受けています。

今までの様に、食糧を安く海外から購入する時代は、過去の事になるかもしれません。

日本人には昔から限られた資源を価値あるものに加工する知恵と技術があります。今こそ食糧昆虫に着手する時代なのかもしれません。(須賀亮二)